

1

$x > 0$ のとき、 $\log x \leq \frac{x}{e}$ が成り立つことを証明せよ。

2

$x > 0$ のとき、 $\log(1+x) < x - \frac{x^2}{2} + \frac{x^3}{3}$ が成り立つことを証明せよ。

3

$x > 0$ のとき、 $e^x > x^2$ が成り立つことを示せ。

4

$x > 0$ のとき、不等式 $\sin x > x - \frac{x^2}{2}$ を証明せよ。

5

x の方程式 $2\sqrt{x} - x + a = 0$ の異なる実数解の個数は、定数 a の値によってどのように変化するかを調べよ。

6

すべての正の数 x について不等式 $kx^3 \geq \log x$ が成り立つような定数 k の値の範囲を求めよ。

7

関数 $f(x) = \frac{x^3}{x^2 - 2}$ について、次の問いに答えよ。

- (1) 導関数 $f'(x)$ を求めよ。
- (2) 関数 $y = f(x)$ のグラフの概形をかけ。
- (3) k を定数とすると、 x についての方程式 $x^3 - kx^2 + 2k = 0$ の異なる実数解の個数を調べよ。

1

解説

$$f(x) = \frac{x}{e} - \log x \text{ とすると } f'(x) = \frac{1}{e} - \frac{1}{x} = \frac{x-e}{ex}$$

$$x > 0 \text{ のとき, } f'(x) = 0 \text{ とすると } x = e$$

$f(x)$ の増減表は右のようになり, $x=e$ で最小値 0 をとる。

$$\text{よって, } x > 0 \text{ のとき } f(x) \geq 0$$

$$\text{すなわち } \log x \leq \frac{x}{e}$$

x	0	...	e	...
$f'(x)$	/	-	0	+
$f(x)$	/	↘	極小 0	↗

2

解説

$$f(x) = \left(x - \frac{x^2}{2} + \frac{x^3}{3}\right) - \log(1+x) \text{ とすると}$$

$$f'(x) = 1 - x + x^2 - \frac{1}{1+x} = \frac{(1+x)(1-x+x^2) - 1}{1+x} = \frac{x^3}{1+x}$$

$$x > 0 \text{ のとき } f'(x) > 0$$

よって, $f(x)$ は $x \geq 0$ で増加する。

$$\text{ゆえに, } x > 0 \text{ のとき } f(x) > f(0) = 0$$

$$\text{したがって, } x > 0 \text{ のとき } \log(1+x) < x - \frac{x^2}{2} + \frac{x^3}{3}$$

3

解説

$$f(x) = e^x - x^2 \text{ とすると}$$

$$f'(x) = e^x - 2x, \quad f''(x) = e^x - 2$$

$x > 0$ における $f'(x)$ の増減表は右のようになり,

$x = \log 2$ で極小かつ最小となる。

$$f'(\log 2) = 2 - 2\log 2$$

$$= 2\log \frac{e}{2} > 0$$

$$\text{よって, } x > 0 \text{ のとき } f'(x) \geq f'(\log 2) > 0$$

ゆえに, $f(x)$ は $x \geq 0$ で増加する。

$$\text{よって, } x > 0 \text{ のとき } f(x) > f(0) = 1 > 0$$

$$\text{したがって } e^x > x^2$$

x	0	...	$\log 2$...
$f''(x)$	/	-	0	+
$f'(x)$	/	↘	極小	↗

4

解説

$$f(x) = \sin x - \left(x - \frac{x^2}{2}\right) \text{ とすると}$$

$$f'(x) = \cos x - 1 + x, \quad f''(x) = -\sin x + 1 \geq 0$$

$f''(x) \geq 0$ より, $f'(x)$ は常に増加するから, $x > 0$ のとき $f'(x) > f'(0) = 0$

よって, $f(x)$ は $x \geq 0$ で増加するから, $x > 0$ のとき $f(x) > f(0) = 0$

$$\text{したがって, } x > 0 \text{ のとき } \sin x > x - \frac{x^2}{2}$$

5

解説

$$\text{方程式を変形して } x - 2\sqrt{x} = a$$

この方程式の実数解の個数は, 曲線 $y = x - 2\sqrt{x}$ と直線 $y = a$ の共有点の個数と一致する。

$$f(x) = x - 2\sqrt{x} \text{ とする。}$$

$$f(x) \text{ の定義域は } x \geq 0$$

$$f'(x) = 1 - \frac{1}{\sqrt{x}} = \frac{\sqrt{x} - 1}{\sqrt{x}}$$

$$f'(x) = 0 \text{ とすると } x = 1$$

よって, $f(x)$ の増減表は右のようになる。

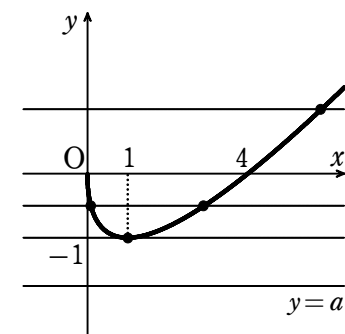
$$\begin{aligned} \text{また } \lim_{x \rightarrow \infty} f(x) &= \lim_{x \rightarrow \infty} \sqrt{x}(\sqrt{x} - 2) \\ &= \infty \end{aligned}$$

方程式 $f(x) = 0$ の解が $x = 0, 4$ などから, $y = f(x)$ のグラフは右の図のようになる。

このグラフと直線 $y = a$ の共有点の個数を調べると, 実数解の個数は

$$\begin{aligned} a < -1 \text{ のとき } & 0 \text{ 個} \\ a = -1, 0 < a \text{ のとき } & 1 \text{ 個} \\ -1 < a \leq 0 \text{ のとき } & 2 \text{ 個} \end{aligned}$$

x	0	...	1	...
$f'(x)$	/	-	0	+
$f(x)$	0	↘	極小 -1	↗



6

解説

$x > 0$ のとき、不等式 $kx^3 \geq \log x$ は $k \geq \frac{\log x}{x^3}$ と同値である。

$f(x) = \frac{\log x}{x^3}$ とすると

$$f'(x) = \frac{\frac{1}{x} \cdot x^3 - (\log x) \cdot 3x^2}{x^6} = \frac{1 - 3\log x}{x^4}$$

$f'(x) = 0$ とすると $\log x = \frac{1}{3}$

ゆえに $x = \sqrt[3]{e}$

$x > 0$ における $f(x)$ の増減表は右ようになる。

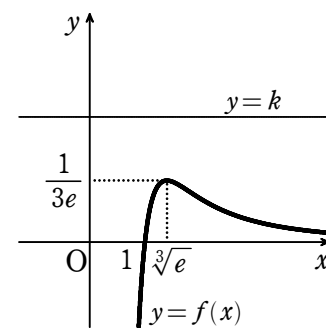
よって、 $f(x)$ は $x = \sqrt[3]{e}$ で極大かつ最大となり、最大値

$$\text{は } f(\sqrt[3]{e}) = \frac{\log \sqrt[3]{e}}{(\sqrt[3]{e})^3} = \frac{1}{3e}$$

すべての正の数 x について不等式が成り立つための必要十分条件は、 k の値が $f(x)$ の最大値と等しいか、または最大値より大きいことであるから

$$k \geq \frac{1}{3e}$$

x	0	...	$\sqrt[3]{e}$...
$f'(x)$	/	+	0	-
$f(x)$	/	↗	極大	↘



7

解説

$$(1) f'(x) = \frac{3x^2(x^2-2) - x^3 \cdot 2x}{(x^2-2)^2} = \frac{x^4 - 6x^2}{(x^2-2)^2}$$

(2) $f(x)$ の定義域は、 $x = \pm\sqrt{2}$ を除く実数全体である。

$$(1) \text{ から } f'(x) = \frac{x^2(x^2-6)}{(x^2-2)^2} = \frac{x^2(x+\sqrt{6})(x-\sqrt{6})}{(x^2-2)^2}$$

$x \neq \pm\sqrt{2}$ で $f'(x) = 0$ とすると $x = 0, \pm\sqrt{6}$

$x \neq \pm\sqrt{2}$ における $f(x)$ の増減表は次のようになる。

x	...	$-\sqrt{6}$...	$-\sqrt{2}$...	0	...	$\sqrt{2}$...	$\sqrt{6}$...
$f'(x)$	+	0	-	/	-	0	-	/	-	0	+
$f(x)$	↗	極大	↘	/	↘	0	↘	/	↘	極小	↗

$$\text{ここで } f(\sqrt{6}) = \frac{3\sqrt{6}}{2}, f(-\sqrt{6}) = -\frac{3\sqrt{6}}{2},$$

$$\lim_{x \rightarrow \infty} f(x) = \lim_{x \rightarrow \infty} \frac{x}{1 - \frac{2}{x^2}} = \infty,$$

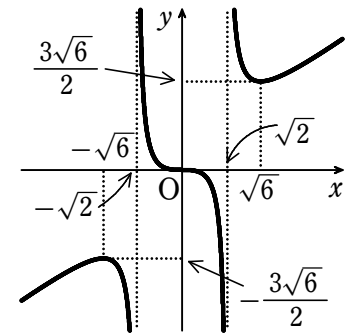
また、 $x = -t$ とおくと

$$\begin{aligned} \lim_{x \rightarrow -\infty} f(x) &= \lim_{t \rightarrow \infty} \left(-\frac{t^3}{t^2-2} \right) \\ &= \lim_{t \rightarrow \infty} \left(-\frac{t}{1 - \frac{2}{t^2}} \right) = -\infty, \end{aligned}$$

$$\lim_{x \rightarrow \sqrt{2}+0} f(x) = \infty, \quad \lim_{x \rightarrow \sqrt{2}-0} f(x) = -\infty,$$

$$\lim_{x \rightarrow -\sqrt{2}+0} f(x) = \infty, \quad \lim_{x \rightarrow -\sqrt{2}-0} f(x) = -\infty$$

よって、 $y = f(x)$ のグラフの概形は右図のようになる。



(3) 方程式 $x^3 - kx^2 + 2k = 0$ は $x = \pm\sqrt{2}$ を解にもたない。

$$x \neq \pm\sqrt{2} \text{ のとき、方程式を変形すると } \frac{x^3}{x^2-2} = k$$

方程式 $x^3 - kx^2 + 2k = 0$ の異なる実数解の個数は、

曲線 $y = f(x)$ と直線 $y = k$ の共有点の個数と一致するから、

(2) のグラフより

$$k < -\frac{3\sqrt{6}}{2}, \quad \frac{3\sqrt{6}}{2} < k \text{ のとき } \quad 3 \text{ 個}$$

$$k = \pm \frac{3\sqrt{6}}{2} \text{ のとき } \quad 2 \text{ 個}$$

$$-\frac{3\sqrt{6}}{2} < k < \frac{3\sqrt{6}}{2} \text{ のとき } \quad 1 \text{ 個}$$